

## 離島の古民家再生に向けて

～古民家の再生を島の活性化に繋げたい～

宮城県建築士会 遠藤陽子

3.11の震災から2年を経過したお盆、お線香あげに親戚の家を廻っていた時、離島にある母の生家の解体が話題になっていました。窓から釣りが出来るほど海辺に在った私の生家は、津波被害により既に在りませんが、母の生家は高台にあり「なぜ解体を？」との思いでした。

急ぎ所有者である従兄の家を訪ねました。昨年まで管理してくれていた島在住の親戚が、高齢の為管理が無理に成った事が大きな要因で、その他に3点

- ・今後とも住む可能性が無い。
- ・次世代に負担を掛けたくない。
- ・猫の侵入による被害を防げない。

と言うものでした。

私たち建築に携わっている者は、次世代に繋ぐべく活動していますが、所有者にとってはこれが実情です。兎に角、解体の件は先延ばしにして頂き、建物の調査を申し出ました。

取り組みの始めに、宮城県建築士会女性部会の方に相談致しました。そしてご協力を得て現在の活動に繋がっています。

### 現地「田代島」の事・建物「阿部家」の事

田代島は、石巻市の中でも3.11被害の大きかった門脇・南浜町の側を流れる旧北上川河口より17キロメートル東南に位置しています。巡航船で1時間前後、温暖で冬季でも零度以下になる事が殆どなく、椿やタブの大木が自然繁殖しています。歩いて2～3時間で島内一周できます。現在は猫見の客で週末臨時便が出るほどです。

そこに明治14年に建てられた母の生家が在ります。離れや納屋数個、ブナの大木に囲まれた墓地や畑が屋敷内に在ります。数代に亘り漁業を営んできました。



### これまでの活動経緯

平成25年9月から平成28年8月までの3年間の活動は3段階に分けられます。

**1 段階目**が、調査報告書提出から事業計画書提出までの期間です。

9月10日現調に4名で入りました。庭には草が茫々、建物は障子がボロボロ、猫の悪臭で息が詰まりそうでした。島内も見て廻り滞在時間は約5時間です。現調、並びに報告書担当された方の作業の速い事、3日目にはたたき台が上がりました。修正を重ね9月28日提出。所有者からは解体費用を改修費に充てた事業計画書の話が出て、年内提出となりました。



『伝統工法による建築物を活かし、離島の自然資源を起点にした「ものづくり」「古き良き伝統の掘り起し」を行ない、先導性、持続性がある運営体制の構築に努める』をコンセプトにした事業計画書を提出しました。「解体がまぬがれる！」と喜んだのもつかのま、そうは上手く行きませんでした。

田代島 『八興丸』事業計画報告書 目次	
1	事業計画書
2	〈仮称〉古民家工房「八興丸」事業計画書(草案)
	リサーチ
	§1 田代島の概要
	§2 古民家「八興丸」の概要
	再生活動
	§1 概要
	§2 資金
	§3 人件費
	§4 発債方法
	§5 1 出資者について
	§2 出資額
	§3 入会と協会と会費の納入
	⑥事業内容詳細
	イ. 関係者
	ロ. イベント開催
	ハ. 工房として利用
	ニ. 地元資源の商品化
	ト. 週末・休日の部屋貸し
	準備
3	組織図
4	概略スケジュール
5	仕上げ表 A3
6	建物計画案図 A3
7	外部計画案図 A3
8	見積用参考写真 A4

  

田代島 『八興丸』 調査報告書 目次	
1	報告書1 A4版 概要
	報告書2 A3版 図面(見取り図)
	報告書3 A3版 図面(全体図)
	報告書4 A3版 図面(離れ)
	報告書5 歴史とこれからへの思い
2	報告写真 1～12
3	参考写真 1～2 (H18撮影)
4	八興丸調査にまつわる参考資料 1～6
5	田代島ねこマップ
6	9月10日の敷築 1～5

2段階目が、事業計画書がボツになり、方向性が決るまでの使用許可が出て、“お掃除ボランティア”を続けた期間です。

女性部会 30名程のメーリングリストに募集を載せ、月1回の掃除を始めました。この間が長かったです。いつ解体に成るか分からない建物に、自費で参加し、汗だくで汚れながらヘトヘトになり帰る有志の方に申し訳なく思いました。広報の有りがたさもつくづく感じています。「募集・田代島通信」担当の方の「そろそろ足を洗うかな～」の言葉に慌てた私。「冗談々もう首まで浸かってます」と。嬉しい言葉です。



“そら密”をスッポリ覆う。  
木枠組みが壊れて、ガラスに隙間が出来ている



雨漏れ防止作業



障子も綺麗に仕上がり



「今日のプロたち」



3段階目が所有者の再考です。昨年暮、「譲渡すれば島との縁が切れてしまうと言う寂寥感、かと言って解体と言う事も踏ん切りが要る。振出しに戻るがさらなる検討の材料を」と言う連絡が入りました。これは進展です。

事態の好転を望みながら、“お掃除ボランティア”を続けてくれた皆様の御蔭です。より多くの人に知って頂き相談出来る様に、調査報告書等の情報やボランティア活動の広報範囲を、より広範囲にする事の承諾を得ました。

今年に入ってヘリテージマネージャー講習会時の講師の先生にも島に足を運んで頂き、さらにほかの先生のご協力も得られるようになりました。女性部会の方々もご家族やご夫婦で参加してくれます。青年部会の有志は県本部の先輩方を誘って来てくれます。

まさにプロ集団です。下足袋姿でジャズを流しながら掃除をする人、脚立の上でバランスを取りながら箒を振る人、お料理の先生、木を切ったり屋根に登ったりの何でもプロ、お新香や御餅を持って来てくれる農家のプロ。漁師の方に魚や海藻を譲って頂き寒い季節には鍋を作ります。活動も楽しくなって来ました。



これから

課題は山積です。

- ・地域との交流
- ・活動範囲について
- ・活動主体について
- ・活動費の捻出
- ・事業構想
- などなど。

現在、所有者に解体の選択肢だけは外す様、島にいつ輝いてる建物を見てくださいの様に、交渉中です。

やっと入り口に立ったところです。島の夜空は星がつかめるほどに近く綺麗です。満天の星のもと、民家の明りが一つ、又一つと灯されて行く事を願って活動を続けます。